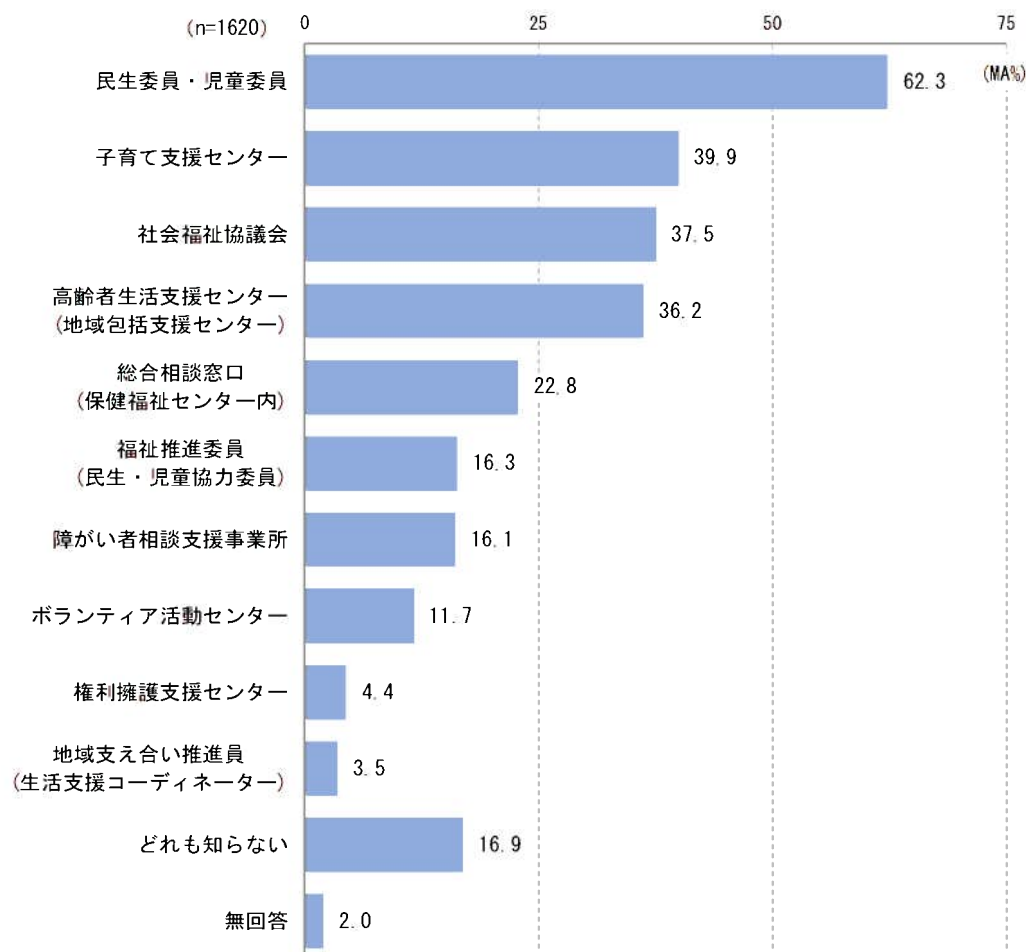


3 福祉の相談先や制度について

(1) 福祉関係機関等の認知状況

問 17 次の中で、あなたの知っているものはどれですか。 <複数回答>

福祉関係機関等のうち知っているものとしては、「民生委員・児童委員」が62.3%と最も多く、次いで「子育て支援センター」が39.9%、「社会福祉協議会」が37.5%、「高齢者生活支援センター（地域包括支援センター）」が36.2%となっている。



年齢別にみると、10～30歳代では「子育て支援センター」、40歳代以降では「民生委員・児童委員」が最も多くなっている。また、「高齢者生活支援センター（地域包括支援センター）」は60歳代、70歳代で4割台と高く、10歳代、20歳代では「どれも知らない」が3割前後と高い。

【年齢別 福祉関係機関等の認知状況】

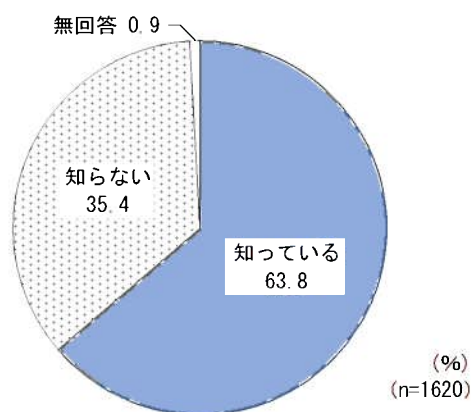
	調査数	民生委員・児童委員	子育て支援センター	社会福祉協議会	高齢者生活支援センター (地域包括支援センター)	総合相談窓口 (保健福祉センター内)	福祉推進委員 (民生・児童協力委員)	障がい者相談支援事業所	ボランティア活動センター	権利擁護支援センター	地域支え合い推進員 (生活支援コーディネーター)	どれも知らない	無回答
10歳代	45	13.3	51.1	8.9	28.9	20.0	6.7	17.8	13.3	0.0	2.2	33.3	0.0
20歳代	151	35.1	42.4	23.2	25.8	15.9	10.6	13.9	15.2	2.6	4.6	29.1	1.3
30歳代	210	55.7	64.3	28.6	27.1	28.1	13.8	16.2	11.9	4.8	1.9	15.7	1.4
40歳代	315	63.5	56.5	37.5	28.6	24.8	14.0	16.5	10.8	4.4	4.4	16.5	1.6
50歳代	259	67.2	37.5	40.5	40.2	21.2	16.2	17.0	8.5	5.0	2.3	15.1	1.5
60歳代	315	72.4	27.9	45.7	46.0	19.4	17.5	19.7	11.7	6.3	2.9	16.8	1.9
70歳代	213	72.8	21.1	45.5	44.1	28.2	23.9	13.1	15.5	4.2	6.1	10.3	2.8
80歳以上	103	67.0	12.6	41.7	38.8	21.4	23.3	11.7	8.7	1.0	2.9	13.6	6.8

(3) 成年後見制度の利用に対する考え

① 成年後見制度の認知度

問 19 あなたは、判断能力が十分でなくなった方を後見人などが支援するという成年後見制度を知っていますか。

“成年後見制度”について「知っている」は6割台（63.8%）となっている。



年齢別にみると、「知っている」は70歳代で80.3%、60歳代で77.5%と高くなっているのに対し、10歳代では22.2%、20歳代では43.0%と低い。

【年齢別 成年後見制度の認知度】

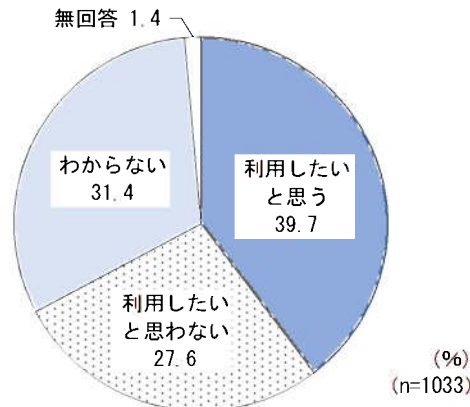
	調査数	知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
10歳代	45	22.2	77.8	0.0
20歳代	151	43.0	56.3	0.7
30歳代	210	54.8	44.8	0.5
40歳代	315	57.8	41.6	0.6
50歳代	259	65.6	34.0	0.4
60歳代	315	77.5	22.5	0.0
70歳代	213	80.3	17.8	1.9
80歳以上	103	68.9	26.2	4.9

②成年後見制度の利用意向

問 20 あなた自身や家族が、認知症などにより判断が十分にできなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

※問 19 で「知っている」と回答した人のみ

“成年後見制度”を知っていると回答した人のうち、制度を「利用したいと思う」は約 4 割 (39.7%) となっている。



家族構成別にみると、「利用したいと思う」は親と子 (18 歳未満の子あり) の世帯で 45.9%、一人暮らしの世帯で 43.2% と高く、「利用したいと思わない」は夫婦のみの世帯で 34.7% と最も高くなっている。

【家族構成別 成年後見制度の利用意向】

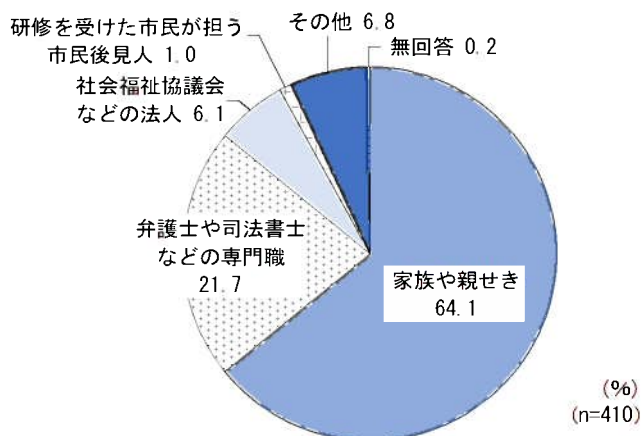
	調査数	利用したいと思う (%)	利用したいと思わない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
一人暮らし	132	43.2	30.3	25.8	0.8
夫婦のみ	323	35.9	34.7	28.8	0.6
親と子 (18歳未満の子あり)	233	45.9	19.3	33.5	1.3
親と子 (18歳未満の子なし)	260	37.3	26.5	34.6	1.5
親と子と孫	30	36.7	23.3	40.0	0.0
その他	48	39.6	20.8	33.3	6.3

③希望する成年後見人

問 21 後見人などには誰になってもらいたいですか。

※問 20 で「利用したいと思う」と回答した人のみ

“成年後見制度”の利用意向がある人に対し、後見人は誰になってもらいたと思うかたずねたところ、「家族や親せき」が6割台（64.1%）を占めており、次いで「弁護士や司法書士などの専門職」が21.7%となっている。



家族構成別にみると、いずれも「家族や親せき」が最も多くなっている。一方、「弁護士や司法書士などの専門職」は夫婦のみの世帯で25.9%、「社会福祉協議会などの法人」は一人暮らし世帯で14.0%と、それぞれ高い割合となっている。

【家族構成別 希望する成年後見人】

	調査数	家族や親せき	弁護士や司法書士などの専門職	社会福祉協議会などの法人	研修を受けた市民が担う市民後見人	その他	無回答
一人暮らし	57	61.4	19.3	14.0	3.5	1.8	0.0
夫婦のみ	116	57.8	25.9	6.0	1.7	8.6	0.0
親と子（18歳未満の子あり）	107	69.2	22.4	1.9	0.0	6.5	0.0
親と子（18歳未満の子なし）	97	71.1	13.4	7.2	0.0	7.2	1.0
親と子と孫	11	72.7	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0
その他	19	47.4	42.1	0.0	0.0	10.5	0.0

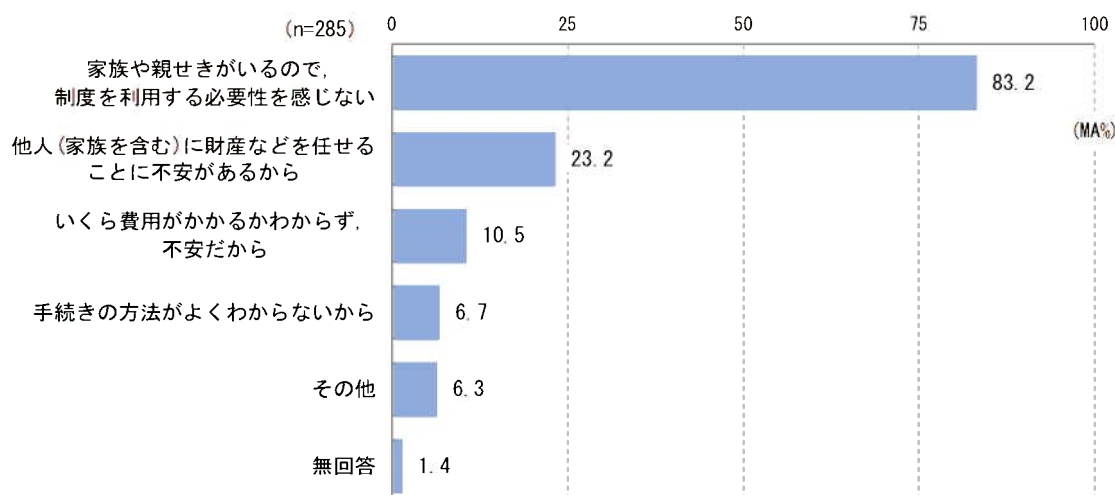
(%)

④成年後見制度を利用したいと思わない理由

問 22 利用したいと思わない理由は何ですか。 <複数回答>

※問 20 で「利用したいと思わない」と回答した人のみ

“成年後見制度”について知っているが利用したいと思わないと回答した人に、その理由をたずねたところ、「家族や親せきがいるので、制度を利用する必要性を感じない」が83.2%と最も多く、次いで「他人（家族を含む）に財産などを任せることに不安があるから」が23.2%となっている。



性別にみると、「家族や親せきがいるので、制度を利用する必要性を感じない」が女性で84.5%、男性で80.0%と、ともに最も多い。また、「他人（家族を含む）に財産などを任せることに不安があるから」が次いで多くなっているものの、女性で18.8%に対し、男性では31.0%と高い。

【性別 成年後見制度を利用したいと思わない理由】

	調査数	家族や親せきがいるので、制度を利用する必要性を感じない	他人(家族を含む)に財産などを任せることに不安があるから	いくら費用がかかるかわからず、不安だから	手続きの方法がよくわからないから	その他	無回答
男性	100	80.0	31.0	11.0	10.0	7.0	2.0
女性	181	84.5	18.8	10.5	5.0	6.1	1.1